

『横浜マラソン2025』事業報告



2026年1月22日

横浜マラソン組織委員会

「横浜マラソン2025」概要

名 称

横浜マラソン2025（英文名：YOKOHAMA MARATHON 2025）

開催趣旨

スポーツ振興や健康増進に寄与し、経済波及効果やシティーセールス効果が期待できる
「する、みる、ささえる」すべての人が楽しめる大会

開催日

2025年（令和7年）10月26日（日）

主 催

横浜マラソン組織委員会

横浜市、神奈川県、（公財）横浜市スポーツ協会、（一社）横浜市陸上競技協会、
横浜市スポーツ推進委員連絡協議会、横浜市町内会連合会、（公財）神奈川県スポーツ協会、
（一財）神奈川陸上競技協会、神奈川県実業団陸上競技連盟、神奈川県スポーツ推進委員連合会、
（一社）横浜青年会議所、（公財）よこはまユース、（社福）横浜市リハビリテーション事業団、
（公社）横浜市身体障害者団体連合会、横浜商工会議所、（一社）横浜市商店街総連合会、
（公財）横浜市観光協会、（一社）横浜市医師会、横浜港運協会、神奈川倉庫協会、
（一社）横浜みなとみらい21、（株）横浜国際平和会議場、山下公園通り会、
横浜エフエム放送（株）、（株）アール・エフ・ラジオ日本、神奈川新聞社、（株）テレビ神奈川、
（一社）神奈川県バス協会、（一社）神奈川県タクシー協会、（一社）神奈川県トラック協会

主 管

一般社団法人横浜市陸上競技協会

協 賛

オフィシャルパートナー

E N E O S 株式会社

株式会社ローソン、日産自動車株式会社、プーマ ジャパン株式会社、
株式会社杉孝グループホールディングス、株式会社京三製作所、
日清オイリオグループ株式会社、株式会社横浜銀行、N T T 東日本株式会社、
第一生命保険株式会社、レイズネクスト株式会社、アート引越センター株式会社、
東急グループ、アクエリアス、株式会社 J E P L A N、ダスキントール、
リストグループ、株式会社フォトクリエイト、三菱地所グループ、
株式会社日立ハイシステム 2 1、株式会社 O N O D E R A G R O U P、S H O K Z

横浜サポーター

横浜ハンマーヘッド、株式会社 J T B、古河電池株式会社、富士通株式会社、
株式会社ありあけ、フィード・ワン株式会社、株式会社ネオジャパン、株式会社日新、
認定 N P O 法人おれんじハウス、株式会社キタムラ、A N E S S A、株式会社城山、
プライムケア東京株式会社、日本光電工業株式会社、
フレッシュ・デルモンテ・ジャパン株式会社、株式会社ミツハシ、R D C R U N C L U B、
横浜高速鉄道株式会社、カリフォルニア・レーズン協会、よこはまコスモワールド

運営協力

横浜市スポーツ推進委員連絡協議会

協力

首都高速道路株式会社、パシフィコ横浜、相鉄グループ、京浜急行電鉄株式会社、横浜シティ・エア・ターミナル株式会社、東日本旅客鉄道株式会社 横浜支社、横浜市交通局、横浜市消防局、横浜市水道局、公益財団法人横浜市緑の協会、京浜急行バス株式会社、富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社、国立研究開発法人海洋研究開発機構、株式会社マルコ、アマノマネジメントサービス株式会社、一般社団法人横浜港振興協会、公益社団法人神奈川県看護協会

後援

スポーツ庁、観光庁、朝日新聞社、公益財団法人日本スポーツ協会

募集人数・申込結果

種 目			募集人数	申込人数	倍 率
フルマラソン (42.195km)	女性ランナー優先枠		6,000人	1,979人	0.33
	地元 優先枠	横浜市民枠	2,000人	5,788人	2.89
		神奈川県民枠	1,000人	2,999人	3.00
	一般枠		10,600人	15,178人※	1.43
	ふるさと納税枠		500人	60人	－
	チャリティ枠		400人	106人	－
	チャレンジ枠		500人	72人	－
	国外在住者枠		1,000人	469人	－
ペアリレー（第1走者約21.7km・第2走者約20.5km）			300組 600人	460組 920人	1.53
湾岸ハイウェイラン（約20.5km）			100人	2,517人	25.17
みなとみらい 7kmラン（約7km）	一般枠		4,500人	10,402人	2.31
	チャレンジ枠		500人	53人	－
ファンラン（ファミリー）（約3km）			500組 1,000人	1,049組 2,098人	2.10
ファンラン（中学生）（約3km）			100人	131人	1.31
ファンラン（車いす）（約3km）			100人	145人	1.45

※ 地元優先枠落選者は自動的に一般枠の抽選に移行するため、地元優先枠で落選された方 5,787 人（地元優先枠申込者数－地元優先枠募集人数）を含む

10周年

1981年11月29日に第1回横浜マラソン大会が開催されました。当初は20km、10kmの2コースでしたが、1992年の第12回大会からはハーフマラソンが開始され、第33回まで開催されました。その後、フルマラソンの開催を望む多くの声を受け、2015年に「横浜を走る、世界が変わる」をキャッチコピーに、「する、みる、ささえる」すべての人が楽しめる市民参加型のフルマラソン「横浜マラソン2015」が3月15日に開催されました。

2025年、フルマラソンがスタートして「10周年」の節目の年を迎えました。



競技結果等

参加人数

種 目	出走人数	完走人数	完 走 率	備 考
フルマラソン	21,334人	20,194人	94.7%	2024大会は91.3%
ペアリレー	412組 824人	401組 802人	97.3%	
湾岸ハイウェイラン	132人	132人	100%	
みなとみらい7kmラン	5,406人	5,345人	98.9%	
ファンラン (ファミリー)	454組 908人	454組 908人	100%	
ファンラン (中学生)	86人	86人	100%	
ファンラン (車いす)	80人	80人	100%	
合 計	28,770人	27,547人	95.7%	2024大会出走人数は25,542人

記 録

種 目	記 録	
フルマラソン男子	1 位	2 時間18分59秒
	最高齢 (83歳)	5時間58分04秒
フルマラソン女子	1 位	2時間43分27秒
	最高齢 (72歳)	4時間29分34秒

気象条件 (8:30時点)

天 候	気 温	湿 度
雨	14.2℃	94%

参加者男女比

割 合 () は2024大会	
男 性	女 性
75% (74%)	25% (26%)

参加賞・出走記念品・完走証



ボランティア

人 数 () は2024大会		当日 参加率
申 込	参 加	
6,585人 (6,338人)	5,806人 (5,862人)	88.2% (92.5%)

沿道応援者数

人 数 () は2024大会
約36.3万人 (約48.3万人)

ランナーサービス企画

ラッキー給食

横浜・神奈川の銘菓や食品を中心に、決められた時間に限られた個数が配られ、食べられたらラッキー！な、ラッキー給食を提供しました。



給水パフォーマンス

各給水所では「ランナーを元気づける」をコンセプトにした、チアやバンド演奏等の応援パフォーマンスを展開しました。



室内手荷物置場・更衣エリア

パシフィコ横浜内に、事前申込不要の無料手荷物置場と更衣エリアを設置しました。女性用更衣エリアにはパウダーコーナーを用意しました。



ボランティア

給水、コース監察誘導、手荷物置場管理、救護など、様々な活動場所で、多くのボランティアが横浜マラソンをささえました。明るく、元気に、笑顔で、ランナーに力を与え、大会を盛り上げました。

また、スポーツボランティアに関する知識や技術を習得するための研修や、ボランティア同士の交流会を開催しました。



公式パーティー

公式パーティーを開催し、大会パートナー各社様への感謝の品の贈呈等を行いました。

開催日	10月24日(金) 18:00～18:40(第1部)、18:45～20:00(第2部)
会場	横浜ベイホテル東急
参加人数	オフィシャルパートナー・横浜サポーター各社 大会関係者ほか 約150人



大会期付帯イベント

横浜マラソンポップアップイベント

参加賞Tシャツ・メダルや歴代大会関連グッズの展示、大会限定Tシャツ・ランニングシューズの販売などを行いました。



開催日 10月4日(土)・5日(日) 10:00～16:00

会場 みなとみらい駅 みらいチューブ

横浜マラソン2025 ONLINE EXPO

コース紹介動画、コースや出走にあたってのアドバイスなどランナー向けコンテンツのほか、応援マップや大会協賛社からのプレゼント企画など、応援者・来街者も楽しめるコンテンツを用意しました。また、大会当日は、「横浜マラソンTV」にて大会の様子を生中継で配信しました。



開催期間：10月10日(金)～10月31日(金)

コース紹介動画



デジタル応援マップ



アクセスGO! プレゼントキャンペーン



横浜マラソンTV



フィニッシュテープを切ってみよう! & バックヤードツアー

大会前日に、親子を対象として、する、みる、ささえるすべてが体験できるイベントを開催しました。

開催日 10月25日(土) 14:30～17:00

会場 パシフィコ横浜・パシフィコ横浜臨港パーク

内容 大会本部見学、ボランティア体験、特設コース(約421.95m)でのフィニッシュ体験

参加人数 64組128人



横浜マラソンフェスタ2025

フィニッシュエリアのパシフィコ横浜臨港パーク内において、ステージイベントの実施やランナー、観客に楽しんでもらえるブースや飲食コーナーを設置しました。



開催日	10月26日(日) 9:00~15:30
会場	パシフィコ横浜臨港パーク 芝生広場、南口広場
出展数	26

関連イベント

大会期以外にも大会関連イベントとして、マラソンを身近に感じられる取組や、エントリー者へ定期的・継続的なサポートを行う取組、環境への意識が高められる取組等を実施しました。

目標タイム別ランニングクリニック

開催日	4月13日(日) 13:00~15:00 5月10日(土)・6月28日(土)・9月13日(土)・10月5日(日) 9:30~11:30 8月16日(土) 17:00~19:00
会場	日産スタジアム、臨港パーク、みなとみらい本町小学校
内容	座学（ランニングの基礎、効率的なトレーニング方法など）、実技（ランドリル、ラントレーニング）
参加人数	734人（全6回合計）



10周年記念イベント 親子ランニングクリニック

開催日	4月13日(日) 9:30~11:45
会場	日産スタジアム
内容	小学生とその保護者を対象としたランニングクリニック 日産スタジアムツアー
参加人数	40組88人



横浜マラソンゆるっとコース体験ラン

開催日	9月7日(日) 9:00~11:30
会場	日本丸訓練センター
内容	ゆるっとランニング（横浜マラソンコース含む5km程度）、ゲストトークセッション
参加人数	46人



横浜マラソン2025 スポG O M I @みなとみらい

開催日	11月8日(土) 9:40~12:30
会場	みなとみらい地区
内容	1チーム2~3人で、90分間の制限時間内に拾ったごみの「種類(質)」と「量」をポイントで競い合う
参加人数	5チーム23人



SDGs

2019大会から実施しているSDGs達成に向けた取組について、これまで実施してきたものは継続しつつ、新規のチャレンジを実施しました。

紙コップのリサイクル



大会で回収された約1.6万個の使用済み紙コップのリサイクルを実施しました。再原料化され、再び紙コップ等に生まれ変わります。



脱酸素の取り組み



参加料金の一部を環境協力金として活用して、参加ランナーが横浜へ移動する際にかかるCO2排出相当量のカーボンオフセットを実施し、大会開催における環境負荷の軽減に取り組みました。



多様な参加機会の創出



ハーフマラソン相当の新種目「湾岸ハイウェイラン」や小・中学生と保護者を対象とした「ファミリーボランティア」の新設、親子で参加できる「ファンラン（ファミリー）」の募集枠の拡大を行いました。

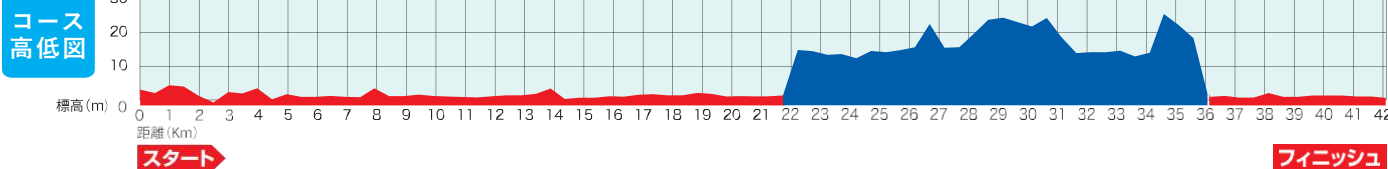
BMOバンクーバーマラソンとの連携協定

横浜市とカナダ・バンクーバー市との姉妹都市提携60周年である2025年、カナダ最大規模のマラソン大会である「BMOバンクーバーマラソン」との連携協定を締結しました。両大会の魅力を相互に発信し合うとともに、ランナーの相互参加や市民交流など、スポーツを通じた国際交流を促進していきます。



「横浜マラソン2025」大会コース

【フルマラソン(42.195km)・ペアリレー(第1走者約21.7km・第2走者約20.5km)・湾岸ハイウェイラン(約20.5km)】



【みなとみらい7kmラン(約7km)】



【ファンラン (ファミリー・中学生・車いす) (約3km)】



オフィシャルパートナー（22社）



横浜サポーター（20社）

横浜ハンマーヘッド、株式会社JTB、古河電池株式会社、富士通株式会社、株式会社ありあけ、フィード・ワン株式会社、株式会社ネオジャパン、株式会社日新、認定NPO法人おれんじハウス、株式会社キタムラ、ANESSA、株式会社城山、プライムケア東京株式会社、日本光電工業株式会社、フレッシュ・デルモンテ・ジャパン株式会社、株式会社ミツハシ、RDC RUN CLUB、横浜高速鉄道株式会社、カリフォルニア・レーズン協会、よこはまコスモワールド

「横浜マラソン2025」収支決算

(2025年1月1日～2025年12月31日)

収 入 939,413,259円

支 出 939,413,259円

差 額 0円

【 収 入 】

【単位：円】

	費 目	予 算	決 算	差 引	備 考
1	参加料金及び協賛金	693,741,000	793,089,660	99,348,660	
2	自治体負担金	137,702,000	137,702,000	0	
3	その他収入	500,000	3,053,638	2,553,638	
	小計	831,943,000	933,845,298	101,902,298	
	前期繰越金	5,567,961	5,567,961	0	
	合計	837,510,961	939,413,259	101,902,298	

【 支 出 】

【単位：円】

	費 目	予 算	決 算	差 引	備 考
1	広報・イベント費	126,425,000	129,745,631	3,320,631	
2	安全対策費	311,322,000	321,641,383	10,319,383	
3	大会運営費	368,282,000	412,620,346	44,338,346	
4	事務局経費	23,516,000	37,419,511	13,903,511	
5	予備費	1,000,000	0	▲1,000,000	
	小計	830,545,000	901,426,871	70,881,871	
	次期繰越金	6,965,961	37,986,388	31,020,427	
	合計	837,510,961	939,413,259	101,902,298	